

千早高等学校 平成29年度 教科(芸術) 科目(音楽I) 年間授業計画

教科: 芸術 科目: 音楽I 単位数: 2単位

対象学年組: HR31~HR36

教科担当者: ()

使用教科書: (高校生の音楽1 (教育芸術社))

使用教材: ()

	指導内容	科目(音楽I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・発声について ・楽典とソルフェージュ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のルールを守り、高校生として自ら学ぶ姿勢を作る ・体の使い方を意識させた、発声も学ぶ ・音楽の理論を身につけ、楽譜から読みとる力を付ける 	授業に取り組む姿勢 (関心・意欲・態度)	6
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルを楽しむ ・器楽に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を楽しむ為に、ハーモニーを矢口る。 ・メロディーにハーモニーをつけて、歌う。 ・二重唱を美しく歌う ・ギター の構造を知る。 ・チューナーを使いチューニングをする。 ・タブ譜 やコード について学ぶ 	授業に取り組む姿勢 ・音楽的知識・理解 ・表現の技能	10

	指導内容	科目（音楽I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・二重唱（ハバリ） （試験） ・器楽に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人でハーモニーを美しく作ることの難しさに挑戦する。 ・メンテルスゾーンを通して、古典派について学ぶ（音楽史） ・キーボードに触れ、両手で簡単なメロディーを弾くことができるようになる。 ・キーボードでの合奏を通して、アンサンブルの楽しさを感じさせる。 	授業に取り組む姿勢 音楽的な知識・理解 表現の技能 実技テスト	10
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・試験 ・合唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードやギターを理解し、定着できているかを確認し、評価する。 ・混声三部合唱を、各自が、それぞれの声部の音域として、作り上げるようになる。 	実技テスト	4

	指導内容	科目（音楽Ⅰ）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱を楽しむ ・楽典. ・器楽に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声部の豊かな響きを作り出す。 詞の内容、曲想にも気づかせ、深い表現へと導く。 ・楽譜上の記号、用語を確認する。 ・ギターの弾き語りにも挑戦する 	授業に取り組む姿勢 音楽的な知識・理解 表現の技能 提出物	10

	指導内容	科目（音楽I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	<ul style="list-style-type: none"> アンサンブルに取り組む ア.カポウに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 個人(グループ)での発表において、選曲し、楽器を選び、(アレンジもある)練習させる。 伴奏のない声だけの美しさを知る。 音を正しくとることに気づかせる。 ハーモニーを常に感じさせる。 	授業に取り組む姿勢 提出物 表現の技能	10
11月	<ul style="list-style-type: none"> アンサンブルに取り組む ア.カポウに取り組む リズム 	<ul style="list-style-type: none"> 人数に合わせたアレンジを考えさせる。 グループでの練習の大切さと、個人の練習の大切さをそれぞれ、気づかせる。 声の質にも気をつけ、美しいハーモニーを作る。 アンサンブルに必要な、リズムについて、学ぶ 理論からリズムを知り、それをいかしたボディーパーカッションを習得させる 	授業に取り組む姿勢 表現の技能 音楽的知識・理解 (実技テスト)	10

指導内容	科目（音楽Ⅰ）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>発表（テスト）</p> <p>音楽史</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで演奏する。クラスメイトに聴いてもらうことにより、より良い演奏となることを感じさせる（緊張感 及び 曲をそとめること） ・古い時代からの音楽を聴きながら音楽史を学ぶ 	<p>実技テスト 提出物</p>	<p>6</p>
<p>合唱を楽しむ</p> <p>校歌を歌う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで 三部 または 四部の合唱に親しみ、美しく仕上げる ・3年間歌ってきた校歌をクラスの仲間と声あわせて、仲むかひやかに歌う 	<p>授業に取り組む姿勢 表現の技能</p>	<p>4</p>

	指導内容	科目（音楽Ⅰ）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				
3 月				

千早高等学校 平成29年度 教科(芸術) 科目(書道I) 年間授業計画

教科: 芸術 科目: 書道I 単位数: 2単位

対象学年組: HR31~HR36

教科担当者: ()

使用教科書: (書I 東京書籍)

使用教材: ()

	指導内容	科目(書道I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 基本運筆	一年間の授業について 文房四宝について 書字で習得している運筆の確認	書字と書道の 違いが理解 できるか	6
5月	楷書(毛筆) 九成宮醜泉銘	基本運筆 九成宮醜泉銘の臨書	古典の特徴 をとらえられるか	10

指導内容	科目（書道 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>漢字の書・楷書 孔子廟堂碑 雁塔聖教序</p>	<p>古典の特徴をとらえ、その違いを楽しめる</p>	<p>古典の特徴と とらえ表現の工夫</p>	<p>10</p>
<p>7月</p> <p>牛橛造像記 鄭義下碑</p>	<p>“</p>	<p>“</p>	<p>4</p>

指導内容	科目（書道 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
8月				
9月	<p>漢字の書・行書</p> <p>基本運筆</p> <p>蘭亭序</p>	<p>行書の特徴を理解できる</p> <p>古典の特徴をとらえることができる</p>	<p>運筆を習得 できたか、</p> <p>古典の特徴をとら 表現できたか</p>	10

	指導内容	科目（書道 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	行書（毛筆） 風信帖 辛酉位稿	古典の特徴をとらえられる	古典の特徴をとらえ表現できたか	10
11月	かなの書 基本運筆 筆体 ひらがな 変体仮名	日本特有の書である 仮名の成立 ひらがなの字母を知る。 基本運筆を習得する	「かな」とは何かを理解できる。 基本運筆の習得できたか	10

指導内容	科目（書道 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月 かなの書 連綿 蓬萊切。	連綿を習得し、古典臨書 に挑戦	連綿を美しく 書けるか。 古典の特徴を 理解し表現 できるか	4
1 月 かなの書（硬筆） 楷行の習得	硬筆で楷書・行書を習得せよ 実用書の習得	硬筆用具で 楷・行書を 表現できるか	6

	指導内容	科目（書道Ⅰ）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月				
3月				

年間授業計画様式例

千早高等学校 平成29年度 教科(芸術) 科目(美術I) 年間授業計画

教科: 芸術 科目: 美術I 単位数: 2単位

対象学年組: HR31~HR36

教科担当者: ()

使用教科書: (高校生美術 / 日本文教出版)

使用教材: ()

	指導内容	科目(美術I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション ~美術って何だろう?~ 教科書から自分の好きな作品や気になった作品を選びその理由を述べる。また、自分にとって美しいとは何かについても考える。	さまざまな作品や作家の言葉などから美術の多様性に気づくとともにこれらを通して「美術って何だろう?」と考え話し合うなどして美術に対する自分の見方や考え方を育てる。	関: 「美術って何だろう?」と考えようとしている。 鑑: 作品や作者の言葉を基に話し合い理解を深めている。 方法: ワークシート, 発表	2
	鉛筆デッサン ~身近なものを描く~ 普段何気なく目にしているものを見つめ直し身の回りに潜む美しさやおもしろさに気づくとともに描く方法、鉛筆の使い方を工夫して表現する。	対象の見方を工夫して見る力や美しさやおもしろさを感じ取り、描く力を育てる。 鉛筆の使い方を工夫し対象に適した方法を選び表現する。	関: 身近なものを観察し美しさやおもしろさを描こうとしている。 発: 見方を工夫し感じだしたことに基づき構想を練っている。	↑ 2
5月	表現する。		技: 対象を表すのに適した方法を選んでいる。 鑑: 互いの作品を鑑賞し合い根拠を基に話し合っている。 方法: デッサン, ワークシート	2 ↓
	風景を描く ~思い出のある校舎のスケッチ~ 思い出のある校舎の中で気に入った場所を見つけスケッチする。遠近法や陰影の対比を観察しながら表現する。	思い出のある場所や、心引かれる校舎の風景を見つけ、印象を自由にスケッチし、構図や視点、遠近法を考え表現する。... 対象を見る時、光と陰影を意識して観察し、工夫して効果的に表現する力を育てる。	関: 心引かれる場所を見つけ表現しようとしている。 発: 主題をあらわすのに効果的な構図や視点を考え構想を練っている	↑ 4

	指導内容	科目（美術 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	風景を描く ↓		技：鉛筆の表現（明暗や陰影、遠近法）を工夫して主題を表そうとしている。 鑑：風景の構図や視点表現の意図や工夫を感じている。 手法：スケッチ、ワークシート制作 ↓	4
	模刻 ～石粉粘土によるにぼしの制作～ ↑	〔素材や道具の扱いについて〕 ① 彫刻に必要な素材、道具の扱いについて正しい方法を身につける。 ② 素材の特性を理解し、的確な道具を選ぶことを学ぶ。 〔模刻〕 ① 彫刻の基礎的表現である、塑像と彫像の違いを学ぶ。またその特徴を学び、制作する上での注意点を意識する。	関：対象を塑像で表現することに関心をもち、塑造の材料や用具の特性や効果を生かし表現しようとしている。 発：形態、量感や質感など	4
7 月	↓	② にぼしを 3面（横上、正面）から描くことで、立体を意識し、自然の形態の持つ美しさを感じ表現する。 ③ 着色することで、自然な色の美しさや、その構成要素を感じ取る。	の造形要素等について理解し、塑造の特性を生かした表現方法を工夫している。 技：塑造の材料や用具を活用しながら表現を工夫している。 鑑：自らの制作課程を振り返り表現の工夫について分析するとともに、他者の作品のよさや美しさを主体的、創造的に味わう。	4

指導内容	科目（美術 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月			
9月	<p>デザインの世界 ～自分の名前ロゴタイプデザイン～</p> <p>幅広いデザインの世界や役割を理解し、デザインとは何か、デザインするとき大切なことは何かを考えながら鑑賞し、表現につなげる。</p> <p>○ロゴタイプを構想するための形や色に文字について学び、制作につなげる。</p> <p>○ポスター... による伝達の表現に関心を持ち、情報の伝達媒体としてのポスターの働きを理解する。</p> <p>○情報伝達における形や色彩、文字などの造形要素の性質がもたらす感情の効果を考えた創造的な表現の構想を練る。</p> <p>○認識されやすい効果的な形文字、色彩を使用し、各自のコンセプトに基づいて、制作の見通しを持って表現する。</p> <p>○ロゴタイプの形、色彩、文字のもたらす心理的効果に気づき、的確な伝達のための表現の工夫や機能的な造形の美しさを感じ取る。</p>	<p>関：活字の様子 ワークシートの記述</p> <p>発：アレイアスケッチ ワークシート</p> <p>創：制作中の作品</p> <p>鑑：ワークシートの記述</p>	6

指導内容	科目（美術 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>↓ 伝達の効果を考え、イラストレーションや文字を検討し、配置や配色を工夫し、ロゴタイプを表現させる。</p> <p>10月 シュルレアリスムって何？（金鑑賞） 班ごとに金鑑賞カードを使いワークシートに記入し、シュルレアリスムの作家たちの使った技法を体験し、今後の主体的な金鑑賞の制作のきっかけとさせる。</p>	<p>シュルレアリスム表現の技法を実際に体験することを通し、その考え方や魅力について興味と関心を高める。</p> <p>作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、理解を深める。</p> <p>共通課題について、他者と話し合い、実感をもとめて回答を導き出す。</p>	<p>関：活動の様子、ワークシートの記述</p> <p>鑑：活動の様子、発表ワークシートの記述</p>	8
<p>想像を形に ～ 立体構成～ 架空の世界や薄の中の出発点などを表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、色彩や立体構成など、創意工夫し、構想を練らせる。</p> <p>また、材料や用具を活用しながら、主題を追求して表現を創意工夫させる。</p> <p>11月</p>	<p>主体的に主題を生成し、想像の世界を表すための構想を練る。</p> <p>主題を効果的に表現するための表現形式を選択し、その特性を生かした表し方を工夫して、創造的な表現の構想を練る。</p> <p>材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性や効果を生かしながら、形や色彩、質感、空間などの表現を工夫し、想像の世界を表している。</p> <p>自らの制作過程を振り返り、主題の生成と表現の工夫について分析するとともに、作者の心情や表現意図と表現の工夫などを感じ取りながら、他者の作品を読みとり、そのよさや美しさを主体的、創造的に味わう。</p>	<p>関：活動の様子、ワークシートの記述</p> <p>発：ワークシートの記述作品</p> <p>創：作品</p> <p>鑑：ワークシートの記述</p>	8

	指導内容	科目（美術 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	↓	↓	↓	6
1 月	<p>自画像を描く</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の内面を探り、自分を表現することに関心を持ち、自分を観察しながら主体的に主題を生成させる。 自分の心の中の思いや感情などを表すために、より効果的な表現方法を選択し表現を創意工夫させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の内面を探り、自分を表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形体や色彩、構成などを創意工夫して思いや感情などをこめて自画像を描くための構成を練ろうとしている。 主題を効果的に表現するための表現形式を選択し、その特性を生かした形体や色彩などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 自分の心の中の感情などを表すためより効果的な表現を選択し表現を創意工夫する。 材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性 	<ul style="list-style-type: none"> 関：ワークシートの記述 活動の様子 発：ワークシートの記述 アイデアスケッチ 創：アイデアスケッチ 作品 鑑：ワークシートの記述 	8

	指導内容	科目（美術 I）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月		<p>な効果ていねいながら 形体や色彩、質感、空間などの表現を工夫し、豊かな表情で自分の心の中の思いや感情などを表している。</p> <p>・自らの制作過程を振り返り、主題の生成と表現の工夫について分析するとともに、作者の心情や表現意図と表現の工夫などを感じ取りながら他者の作品を読み解き、作品の工や美しさを主体的、創造的に味わう。</p>		8
	<p>バターナイフ制作 ~ 暮らしの中の「使う」デザイン ~</p>	<p>・使用機能に関心をもち、主体的に主題を生成して創意工夫する。</p> <p>・機能と美しさを考え、主題を生成し、具体的なバターナイフの構想を練る。</p>	<p>関：ワークシート、活動の様子</p> <p>発：ワークシートの記述</p>	
3 月	<p>毎日の生活で使っているものに目を向け、機能と美しさの調和について考えさせ、制作させる。</p> <p>使いややく、美しい形を角材から彫り出す。</p>	<p>・表現意図に応じた材料や用具のいかし方を工夫し、計画的に制作する。</p> <p>・作者の表現意図や工夫を読み取る。</p>	<p>創：作品</p> <p>鑑：ワークシートの記述</p>	4